

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	職業関連技術論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	403号室
担当教員	大島 行博	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>対象者の職業関連活動上の問題点説明や就労支援の理論や介入技法・留意点の説明ができるように、以下の5点について学ぶ。 ①職業の意義、人が働くことの意味(生活や発達などの側面、文化的背景)。②就労支援に関する作業療法理論。③就労に係る諸制度やその歴史、支援技術。④職業関連活動の定義、就労支援に関する作業療法士の役割。⑤就労支援の対象となる人と場、作業療法の評価・治療過程。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末試験96%、平常点(態度・準備)4%で評定する。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>参考書: 作業療法学全書 第12巻 作業療法技術学4 職業関連活動 [改訂第3版] (協同医書出版社) 図解 作業療法技術ガイド[第3版] (文光堂)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>授業を理解するために予習フィードバックタイムを有効化し、復習を通し、確認する。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>講義内容を自身で言語化できることがポイント!</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	①職業関連活動の概念②就労支援に関する作業療法の役割について説明できる。③関係職種・機関との連携を理解する。		配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション、職業関連活動概説や就労支援の作業療法をわかりやすくイメージできるように展開していく。				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	④職業検査について、イメージを図っていく。		配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。	
	各コマにおける授業予定	厚生労働省編一般職業適性検査、VPI職業興味検査、精神障害者社会生活評価尺度(LASMI)、ワークサンプル法(マイクロタワー法)を説明し、イメージを図れるように進める。				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑤職場環境評価と治療過程について理解を深める。		配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。	
	各コマにおける授業予定	職務分析、産業工学的評価法、評価結果のまとめ方、作業療法治療過程を説明し、流れを体験できるように進める。				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑥就労支援における概念を理解する。		配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。	
	各コマにおける授業予定	就労支援の目的(ゴール)におけるリカバリーモデル、ストレングスモデル、place-then-trainモデルを説明し、イメージを図る。				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	⑦身体障害の就労支援をグループワークを通して確認していく。		配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。	
	各コマにおける授業予定	障害特性から評価、アプローチに至る流れをグループワークを導入し、理解を深める。				

授業の方法		内容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	⑧高次脳機能障害の就労支援において、グループワークを通して理解を深める。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
	授業を 通じての 到達目標	高次脳機能障害の就労支援の実際について学習し、要点整理する。		
第7回	講義 演習形式	⑨知的障害の就労支援においてグループワークを通して理解を深める。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
	授業を 通じての 到達目標	知的障害の就労支援の実際について学習し、要点整理する。		
第8回	講義 演習形式	⑩障害雇用の現状と課題についてグループワークを通して理解を深める。	配布資料	講義資料をフィードバックタイムで理解を深め、確認する。
	授業を 通じての 到達目標	厚生労働省のデータ等を示し、イメージを図れるように進めていく。		